全氣極め

て良好

満洲國側の提案を中心に

質質的の計議

を從へて控へ、つでと

## 

(木)

単単数 最新行 入人人

谷松十 曹本河 二 荣

日十月

を受ける。 「一様」「何を十一様」「何を十一様」「何を十二年」「何を十二年を

验行新

100 20

### 若草前の けふ皇帝親しく御閲兵 拜觀の諸員感激 る原頭

一閃すれば軍馬いなゝいて精鋭の意氣いやが上にもあがる増し、ゆらぐ陽炎も亦慶祝の氣をこめ てららゝ かにた ちのぼる、指揮刀に一點の雲もなく、御英姿を迎へた四方の新綠 も初 夏の光に 一入の綠を日午前十時三十分から新京飛行塲で盛 大に擧行された、けふ 氣 澄んで空堂々たる満洲國新軍の威を中外に發揚すべき大典觀 兵式は 若草もゆる十

ん轟ろく

御軍裝漂々

満洲國皇帝陛下が満州國 軍に場りし勅語並に之に對 する張軍政陪大臣の奉答文 左の通りである

は、 大元前陛下即位典禮/際二大元前陛下即位典禮/際二 大元前陛下即位典禮/際二 大元前陛下即位典禮/際二 大元前陛下即位典禮/際二 大元前陛下即位典禮/際二

下の御親関

今日始めて御胸間を飾る大勳無監自動車に召され張將軍部無監自動車に召され張將軍部無監自動車に召され張將軍部無監自動車に召され張將軍部

来京した - 親した 現した - 親した

章、龍光大綬章、馬一位景、間光八綬章、馬一位景 章、勵八位景震章等録く

し、この大典観兵式を祝贈と、胸につけたる鳴笛、美

||幕僚||令官、下その他

滿洲國軍

し勅語

昭長宇佐美寛爾兩氏は頭兵式拜 観に来京

一皇三市 || 軽舎に入らせらに就かせられ正午御機嫌にはの途に就かせられ正午御機嫌にといるとしては異角の途になった。 「一」に対かせられ正午御機嫌にはしては、字佐美術に入らせられた。 この朝时馬地式場の警衛警戒の大命を受けた新京署では午前七時全署員を召集し渡邊大機副官の勢令一下、署の前へ中央通に面す)に整列し高山大隈長並に石井監察官、馬場を段級長の査関があつた後、著兵隊長期寄せる再職者の推踏を遺憾なく整理し警戒の萬全を顕した

總元年五月十

満洲國官更は大典観兵式にあ

本別は質に脱古の 図際 位局 と に 直面して 居る、 然るに 我 と に 直面して 居る、 然るに 我 と に 支前の 伸張 を 見たる に 物 を 別 な 質面 の 登 達 過程 を 見 で を 別 な し 忌むべき 不 能 事 の を 別 な し 忌むべき 不 能 事 の を 別 な し 忌むべき 不 能 事 の 事を希望す 各位宜しく軍民一

日本参加勸誘に關する

外務當局の意向

銀公司

では三大 で 、 長官會議を一日延長し で 、 長官會議を一日延長し で 、 長官會議を一日延長し で 、 長官會議を一日延長し

康務元年五月十日

本の意思

盟友國軍の意氣冲天、

北鐵第二大交涉、

立ち入る機利は、あたしいけないのーク おまへ

「低しい仲だと思って、

他の洞察を開

と、横を共に、

轉た今昔の感に堪へないもの し、眼のあたり面目一義せる し、眼のあたり面目一義せる 新京消防隊 お道すじ清掃

新京署の 新京消防除では全員出動で夜 来から鹵簿の御道筋を揺ぎ、 十三日は早朝から撒水して路 面を清めた

力づよき から

との訓示を爲し午後三時散會 学校に開催されたが林陸相は の中間行政機關の設置 の中間行政機關の設置 の中間行政機關の設置 の中間行政機關の設置 の中間行政機關の設置

昨日地方 長官會議

対事業の繼續を唱へる 提携をする事となった 黄紹雄南下

任附の機合を 音林駐在員事務所は五月一日局吉林駐在員事務所勤務 吉林所長に

東京國通》日支提携の機運 東京國通》日支提携の機運 東破し、其他十日には中山大 東破し、其他十日には中山大 東水生一行下旬は北平の師範 大學々生一行が観察に來るこ とゝなつた、尚外務省が肝入 まづ文化 留學生達續々渡日

「よくんー」と、悪い神疾を、

の農業観察に十一日午前八時二名を連れて農安、光南方面 一質業部4員 昌鑛氏は一行十 辰業視察に 實業部員一行

H 支提携は

言ったのは、美職テレ酸しの気で、何素にいました。と、夫人が である。 だった。 一は、 八口のととろに、立ち でも? 人人も、松配も、

ておいでだし、

番九0八二話電

| 料林の鮮新送急 | 場場の覚味流風 | 仕給はない明

會宴大敷墨百日近久愈

他一は、天州を仰いで見つた。

でとの家へ、無縁ではいつたのが、

後五時散會し

の中に計

議を行つた、

東北軍將領

再起の秘密會合

た | 大郎で既報の額觸れで開會、過般滿洲國側からの提案に基き實際(東京國通)北鐵讓渡に開する第二次中間會商はいよいよ九日午後

質的討議を行つ

●武田中將(第000)

なんかに連れて行くよりは、

とつて、

▲三毛少將(第〇〇〇 ○〇時司令官)九日午後一 時五十五分着大連から 時五十五分着大連から

行はんことを主張討議したが、央裂前に於けるが如きいがみ合張の正當なるを力説、殊にソ聯側は褊洲國側が今少し讓歩して使張の正當なるを力説、殊にソ聯側は褊洲國側が今少し讓歩價格を中心東京國通)別項第二次北鐵交渉中間會商に於ては讓渡價格を中心

段の吊上げを

新京高等女學校々**階乗務を**会

なく極めて

その日

馬占山等續內漢口

大概兵式の

郵便戰線異變

為替關係の大躍進に較べ

小包は忽ち激減す

入税がたら

## **冶外法權撤廢への第一步** 成行き頗る注目

工業者と常に闘争の地位に

外法権撤廢の第一歩として

者の兩方面で力説され、補 實現運動に齎手し問題はいたが最近吉林省の諸縣公署 |現果||はかなり重要調

を注視されてゐる、吉林省額 政が最も憂慮すべき事態にあ 及が最も憂慮すべき事態にあ し、從價百分の三の地方稅を し、從價百分の三の地方稅を し、作價百分の三の地方稅を し、本人採木事業者に對 大林御を重ねてをり、而して邦 の て撃ろ同情の意を表し伐採権 を許されてゐる関係からして

はゆかねが日満南國の密接な のではゆかれが日満南國の密接な のではゆかれが日満南國の密接な る関係に鑑みて営業者に のみで釣四萬六千圓であると一銭二銭の切手賣上高は同局 裝飾競技會 ショーウインド

満電の

スご電車

一回に飲く米の量が

だ、各選手とも灼熱の炎天でをつけるといふのだから愉快

5を更に太連に修繕が外、普闡店の各地

ス並に電車は新に

戸山學校で關係者が會合しから建直す機選が醸成され
討を加へ日本の體育を根本

先例を示すこと、なるから の問題は直ちに廣汎に亘つて の問題は直ちに廣汎に亘つて まつこと」なつてゐる 薬學校は例年の如く参加にあと数日に切迫したが新京 ヨーウインド装飾競技會は報十四日より開催される市 商業生參加

元が、去る七日本に獨自案を主張

補佐役となり生徒は五 市外バスは関東州内に於

印鑑偽造行使の

弘中自殺未

看視人の隙にタオ

N

首つり

通飲食店天金前を大陽堂藥店

九日午後十時ごろ市内東一條

喰はさる

々員朴春鐵へ一七)が通行して

取せんとし、新京層に検撃さ

の内地人男が呼止め、淋病薬

り検事局に送致されたものである

一圓を注文し十圓で支拂ふから約銭を持つてこいと云ふので、店員は店から現金入園と 薬を持つて行き手渡すと金は ヤマトホテルで支拂ふとて店

なほ同列車は三等旅客だけ取

平街午前七時三十八分濟

ら、内地へ送られる小包であるが内地から新京への書留小

#### 滿語勉强 中銀行員の

一箇で昨年より三萬四千六百

代同金引交付三千百九十五箇

中央銀行では各支行全般に亘り新京商業學校に於て行つたが、其結果三十三名の合格者を見、第一回(昨年秋)の合格者を見、第一回(昨年秋)の合格者を見、第一回(昨年秋)の合格者九名と合せて四十二名に達したが、来る九月の第三に達したが、来る九月の第三 成績は良い

よるものである、

なほ四月の

|満州||最の輸入税が課

||金額||が約百四十萬圓が示されてゐる、うち爲替振が示されてゐる、うち爲替振

|書留||小包引受数の

窓口で収扱はれた 窓口で収扱はれた

者の中に落伍者はなくなるだ 度より見て合格者五十五名を

情勢を語

日滿間の無線

七月初旬開通

内地台灣間六月に

**謄離 出席の山本主事** 

大會務洲國参加問題シャトル丸で躊躇し 外の情勢を大の如く

長室に芳賀所長、高澤驛長、後二時三十分から鐵道事務所 第三と行つて萬遺

奉迎準備 打合せ會開く 滞洲國参加問題の

する第一回打合せ会を九日午する第三回打合せ会を九日午する鎌道側の警備その他に開 新京鐵道事務所では近く御來

これた全國體育運動主事會議 語つた 山本壽喜太氏は去る二十五日 たが極東大山本壽喜太氏は去る二十五日 たが極東大

スポーツの指導精神やの問題に 啓放されて日

を見る事決定した、料金は内電話は來る六月十日より開通

つてゐた內地、臺灣間の無線

開催するはずである。加盟各事務所幹部との聯合懇親會を

社およひその人名は左の通り

られてゐたが、僅か一年有半ので、初めは相當困難だと見 岩検定試験は潴鎌の三等 非常に喜んでゐる

施設として日本小學校設立 邦人移住は日々増加し鈴家

鐵道部に移管 成案决定せん 道部直管とする、而して地 後道收入の六割はバスの包 を消儀の培養線として維 とを消儀の培養線として維 在り互に競争しつくあるもては消鐵線と對立の地位に

ては補鐵監理課及ひ鐵門別の市内電車

小學校開校

康みをつける拳闘選手

たい、第一色を黒くして凄み で肥つたから少々體重を減じ で肥つたから少々體重を減じ

本選手雜觀 は素晴しい、一番暑氣の激しろ肚觀といふ程の有様で元氣

排球規則

三國意見一致 るので

合せ御客詣被成下度此段御案内申上候京稲荷神社夏季大祭を嚴修可仕候條萬障繰月十日(宵祭)十一日(午の日)兩日に亘り新新線之候尊堂愈々御淸穆奉賀候陳者來る五拜。啓

日、比、支三國代表意見が一段會は九日午前十一時から開催され規則の打合せを行つた て實際に就いて規則の説明を到員が日本チームの練習に來

務方、中間脚は脚長又は助役なほ出席者は主要罪の無當底

新京稻荷神

同

奉天省の 幣制統

民政部でも

生

0

京署で犯人捜査中である より旅客列車(軽油動車)を四兆線では十五日から左記に 本のでは各省中率天省が最も多くの私帖を設がせてゐるが民政部では各省中率天省が最も多くの私帖を設行してゐるが民政部では各省中率天省が最も多くの私帖を設短期間に回收する目的でこれに要する資金を中央銀行から五ケ年の年賦償還で貸買し利子は國民の負擔を經滅

吸

大和通五一

**」なった** V B 0

生

一、 愛事時刻下り第四百九十一、 區間 四平街八面城間

大會に出場した日本役員は一番とに有效であつた。梶東名上に有效であつた。梶東名上に有效であつた。梶東名を開いるという。

四兆線では十

列車運轉

四洮線旅客

期中開かれる憲法改正會

▲不安町一丁目三番地藤田茂 氏は九日午後六時でろ自宅 十二番地松

蒟蒻

いまれる ▲富士町四丁目四番地六丸茂 第七號地裏に繋いでゐるを後十一時ごろ鐵道北興仁街

龍拔けに

はい

迁地 马人

合を九日午後五時ごろ自行西掘蔵吉氏所有自順車

合資會社

京團体 日満 遊販賣合資會計 希望者は本人來談あれ なま可ご丁見入香地 なま可ご丁見入香地 なま可ご丁見入香地

<sup>院庭</sup>

冷藏庫特價賣出

受強めのため此際特別廉價で御需めに應じます一貫 目の 氷が 三十 時間以上もちますす 法 は 大 小 四 種になって 居ります

河野洋行家具販賣部新京永樂町三丁目 新京東1條通(積養軒向) 新京東1條通(積養軒向)

電話附貸事務室

面スル十字路角

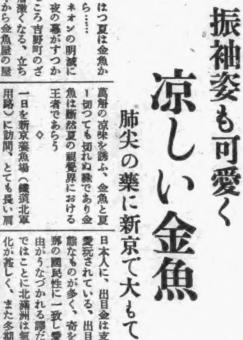
所 大通リ

オデン屋飲食店現在盛業中急ニ讓ル 月四十間也(電話料ヲ含ム)至急貨與ス 新京土地建物會社

別式相管可申候

百五十名





がや、困難のために充分が

自後山で祭り

五年度の多からは何國と開設

West fairlier

**産皇帝へ金魚を献上** 

内府役人の悪望に が、同養 の形が、同養

て著しい、それは

りみられないもの 地、臺灣の主要都市相互間一地、臺灣の主要都市相互間一地、臺灣の主要都市相互間一

ラ及ひパタピアと順大に通 がいてマ

華生丸引

居乍にして話が出來る様にす話を開始しこの秋には米國と ると當局では頗る自慢である 滿鐵記者俱

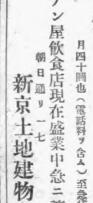
機關に常時出入する各新聞京地方事務所を中心に滿鐵

發會式を學ぐ

天気







永眠仕候間生前辱知諸彦ニ炭薬石效ナク十日午前五時父禎造儀豫而病氣靜養中ノ

0 12 13 14 15 16 次 17 18 う 善ま 所聞を贖む暇のない人に開かすのが目的である完成頭の要所々々に置いて通行人 実に近いものが出來上つた 製作研究中の所、此の程漸く 大関では『物を言ふ新聞』を な商人達は早速、トラ

に十五七七五

宜

店 例西館事領總り通日朝 杏丸七二二話電

風呂釜、青蠅除綱特價提供 石灰、土管セメントモルタル瓦衛 生 陶器 防水材料 登 強 山土 工 用具建 具 金 物 一 式 日用荒物 双物

夏着尺新荷着荷 念篠田商店 市一作語 市内各薬店難貨店ニア 家庭の必需品 复季には殊に (衛生殺虫濟) フマキラ

加藤葬儀店

松竹下加茂特作長谷川伸原作を島寨三監督を島寨三監督を島寨三監督を島寨三監督を島寨三監督を島寨三監督を島寨三監督を島寨三監督を島寨三監督を島寨三監督を島寨三監督を島寨三監督を島寨三監督を長谷川伸原作を島へい、スターキャスト

是非御用命を……!!

定評ある篠田へ!

ふさん……わた類は



揮弾油でごしごし擦ります なつてま 度々繰ります です、併しあま と脱色して模 対している。 対している。 対している。 対している。 対している。 が出からお職はお忘れなくよく埃を排ってに大島の簡單な洗張りの仕方に大島の簡単な洗張りの仕方ができます。 がいる から後でこして機温湯になった。 から後でこして機温湯になった。 斯んな良い方法がある

の面に導くこと以上に、見畫の面に導くこと以上に、見畫

譲治監督五所平之助、その梗 原作神色は伏見晃、撮影小原 原作神色は伏見晃、撮影小原

護店

**電話三八〇** 環に建業中の

霧の夜の

さくら音頭

丰

重話は見童の藝術教育の最

観り方への影響 関子及び韻律の体得

ら先づ大氣焔を奉げてゐる

料數揭

九日江三

使命 と見童

・ 見童の言葉の教育をなすもの 対見に對しては、文字を通して言葉を授けることは出て: な字を通し いのでもい て言葉を與へなけ、當然耳を通して おは童話は見童の宗教でな 見童にとつて童話は心の程 であると云つたが、正に子供 のために正しき人の道を教へ 人生を教へる人生哲學思想を 人生の縮圖である 高的偉人禮讃である 電話はその發生のメルヘン 童話は・ 断面圏であり

室話は見童に生活を教へるものである、即ち童話は特来 見童が成人して社會に立つた 時必要なすべてのものを豫習 上長子者川 ボ部歌、田大大の米春

0

洋帳簿 各種製本專門 三笠町三ノ九 三、省堂製本所 京染洗張専門 党二六四五番

下品 水學軍大人四十錢 小人 十 錢

一回公開



最終三人三〇季 味覺で立つ=

電話四八二六

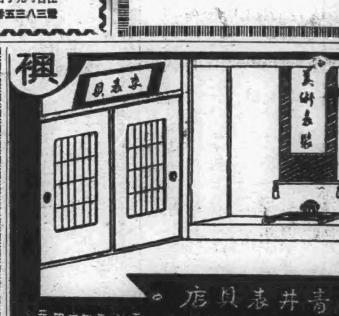
車軸油 モビールグリース 油 建築用油 重 油

美しかった。

▶目品業營◀ 發 油 石 油

新京吉野町一丁目二番地

隆泰公司商事部



電話二二四大番

一度お越しを願ひます

三笠町三丁貝

上下水道。故障は!! 新京中央通四十二番地

電話四八八六番

△揮酸油二合、ほら砂六グラム (約茶匙二杯)食鹽同量、 食鹽とほら砂をお鍋に入れて 食鹽とほら砂をお鍋に入れて はり強くない火で二三分間か たまりのない様にやつて揮酸

輕く擦り吸取紙を押當て、汚から左に説明する液を脱脂糖 様がはつきりしなくなります を吸取らせるやうにして下

ひます、一二度潤いで最後のの上へ布をひろげて叮嚀に洗

の話童

やうです一般にボヤけてみへ るお化粧はヴェールの 号っ

はつきりとこの言葉を云ひきさにふり向けた母い体験を二つも三つも持つてゐる私は、 宣話の力によつてすさみ 切つ

あんま 日本橋通中家内一陽堂 一親文第参上

新

京

東氣分の……

野

手 大和通り四九 大和通り四九 大和通り四九

である、即ち兒童の道徳山大 人の道徳とは大なるごを持つ 人の道徳とは大なるごを持つ

上は熟在大學の 上は熟在する野球は高子子と を立くら音頭の歌うには関すった、 の幸福のたれた。これを開立した自動の では行方をくらされた。 を通りたれた。 を記したいでは、 を記述され、 を表子とのでは、 をまるでは、 を表子とのでは、 をまるでは、 を表子とのでは、 をまるでは、 をまるでは、 をまるでは、 をまるでは、 をまるでは、 をまるでは、 をまるでは、 をまるでは、 をま 土地●家屋 資家貸間親切に御紹介致ます 電話低利にて金融致します 東一條通五四金光教會前 成 社 電話四八八円音 貸貸

極秘 朝日通十七

實達水小大扳筑飯川田坂 廳初久林山本 波田 崎中東 经夢澄九健 雪蝶 弘絹太郎 維子子二二武子子代郎

御用は!! 金華堂

本の中の巻吉野町一丁目 みどり茶園 新茶到着 十九の春に幸るれ! 十九の春に喜みあれ! 大人生の春、娘時代の朗らかさ を経典なる名篇

● 間入 新京東二條通廿五 横濱屋 買店

聞

名

互先先番

柳珠社 4長

總裁

局

海の外か

6

「物言ふ新聞」

日

ものの中で、脱脂綿を

の養ひで

の養ひであると云ひたい・
童話は見童の心の糧である

日

後は乾いた布をのせて余り、か分は暖取紙で暖取り、その水分は暖取紙で暖取り、その水のはいたはいいでは、泥跳輪をおさい位にしぼり、泥跳輪をおさい位にしぼり、泥跳輪をおさい位にしばり、泥跳輪をおさい

始してゐ

主く尊いもので大人の一名。この見童の空想

ればならない お話によつて言語

京

併し黒地 は却々取りにくいものですからもし泥の輪

は云つてゐる、

ことが出來る、とフレーベル自己の判斷力及ひ感情を試す

新

から泥跳は天鵞椒の小さ

大島に限らずお召、

上の方の澄んだ液を使用致しておきますと

女中數名急募

八日は二日間例素仕奥行

新東京 八五で

電話賣買

0

但市内に確實なる保護人二名を要し多少武道に經験ある 外交員募集

正春商店新京支店

靑

唸を生じて大評判 ●御壽司仕出し 三笠町ニ丁目

食道樂青

電話二九四二番

治療受付 正午より午後三時まで 小內 兒 科科

朝日通八十三番地

## 鐵運賃値下げに 聯交換條件

牡丹江クロス問題は既定方針

一年迄の平均に求むる旨の膠明を行つた事に關しその割留 芸準となるべき 一九二七年か ら三一年の平均輸入量は如何 なる統計に依るかに注意が注 がれてゐるがイギリス商務省

帝國代表

野で目下準備中である、 は、五月十五日よ が関係して来てある、尚 等を提議して来てある、尚 で日下準備中である 一、割雲制度に就いては目下 協議中なるも基準の数字は 現在の貿易統計に依らない 何となれば一九二七年より 三一年の間の各植民地の詳 細なる綿布統計が揃はず、

一、英領西アフリカ、東アフリカの外香港にも割富は適 明されない、尚イギリス政 用されない、尚イギリス政 日本綿布の輸入減少を一億 ヤード以上によるものと観 1、アデンの如く中縄貿易を主とする所もあり又その 商品輸入統計を商品の原産 地國別に依らず委託積出図 地國別に依らず委託積出図 地域別に依って分類せるものが 多く妥高でないからである 依つて割富数字は適當に副

【東京認通】日嗣曾商帝國代表部商工省側隨員として左の二氏を决定、外務省に通告したので兩三日中に正式發令がある筈 隨員决定

相左の諸氏随員に九日**競令された** 同 技師 根岸 保吉賀易局事務官 奥田 新三

つた金だっおいそれと、田外る宮

つひ、今日まで楽れたか

大松の命がおいそれと出来でもの

とも、百とまとまつた他のいる題

いまもいふ通り、そんな

てさら、早然にゆくもんちやね

内外物價指數(東京國 通)日銀調査に依れば四月中 の内外物價指數は 東京 に保合つて居る バタビア副領事 小谷淡雲 外務省事務官 早間 恒雄 長谷川元吉 長谷川元吉

パナマ輸出

商戦を展開

堂々たる外務當局の態度

本を投資させて支那の復興によれば 選上り外務省管の公電によれば 選 より外務省管の公電によれば 選 より外務省管の公電によれば 選 てフランス銀行家より銀行家 基 はカ外務省管の公電によれば 選 でフランス銀行家より銀行家 基 したいが日本は参加の意志 本を投資させて支那の復興に 本を投資させて支那の復興に 本を投資させて支那の復興に 本を投資させて支那の復興に る 本を投資させて支那の復興に も 本を投資させて支那の復興に 本を投資させて支那の復興に を 個体を作りこれに各国から責 ところであるが新たに投資 を は支那の開發には一見識を すして居るが、しかし貴下 の 意思は本國政府に一應像 の 意思は本國政府に一應像 したが極め

にパナマ七日愛園通】日本品の世界市場進出、特に近来の中南米に於げる目覺ましい躍出、特に近来の中の第三位に位して居り、今中の第三位に位して居り、今中の第三位に位して居り、今中の第三位に位して居り、今中の第三位に位して居り、今中の第三位に位して居り、今中の第三位に位して居り、今中の第三位に位して居り、今中の第三位に対して表別の対してあり、ペナマ輸出額は左の如くであり、ペナマ輸出額は左の如くであり、ペナマ輸出額は左の如くであり、ペナマ輸出額は左の如くであり、

帝國政府としては會商開催に 至らざるも目下尚交渉機績中 至らざるも目下尚交渉機績中 を實施せんとするは日英五十 年来の友好關係に歸し日本政府は 整である、輸入割當なる制度 場が之を採用しなければなら 別の大産業園を以て任ずる英 と云ふ事は甚だ不可解である。世 と云ふ事は甚だ不可解である。世

を招待

國選手

は、流石に女一 脱と月日と前があったから り、際をおとしてきょいる 小兵がは、こよぞといふや して、あふことができた 似にく、今夜は持つてゐないとい う しばらく ふんだねえ

春向ネクタイ

の散策に

ステッキ其他

電話(三五八)番

0

ところであるが新たに投資 圏を作つて開發に當る前に 変那はこれ迄大きな債務が あるから、これを整理する ことが第一條件である、又 各國の借款の整理も考慮す る必要ある等種々の關係が あるからこの點を充分考慮 は支那の開發には一見識を は支那の開發には一見識を 十一ケ條記念日 「上海九日發國通」九日は所 調サーケ條十九周年に當るの で上海市黨部では午前九時か ら黨部大總堂に各機關、團体 學校代表を召集、記念大會を 健し全市の娛樂機關、宴會は 上海は平穏 

こいふいけだ !!

ちゃなし、まして、いま、持つて

表替裏替

電話 三四四〇番

人絹製品に對し割書を行ひ ロンドン八日發極通)ランロンドン八日發極通)ランロンドン八日發極通)ランロンドの八日で

ふわけちやねえるこれが なるがいく、一をんな大量を持つで近く わけがねえぢやねえかし の上に、あたしをだまして逃げよ いことをいつてをいて、また、こ 一面るれるさう、配どり聞くつ そんなうるさ んななのち

迅速叮嚀

稠殿新十郎

まったといったって、時はず

世界現象 高大特 新大学県 100 東京 100 東京 100 日本 100 日本

製機上表新 械 造床敷替疊

玉 商 型版III九〇番 新泉東二條通り

滿洲衛生の癌!!

諸書類作成、日滿鮮通譯滿洲國商標登錄日滿民刑事訴訟、顧問及鑑定、貸家貸地管理並 ド 対 対 理 護 士士 黑田法律事

「御壽し」の御下命は!

春の御旅行野遊には……當店自慢の公前詩ー

新京支所地装置研究所

請負請も致します。 外に弊所は右の防蠟袋置を設備した建築の設計及施工のます

各種傳染病の恐怖季來る!! 病菌媒介者たる!! 病菌媒介者たる!! 病菌媒介者たる!! 場所は絶對質任を以て右の使命を達成しませら是非一度 地所は絶對質任を以て右の使命を達成しませら是非一度 しませら!!

限 票 3 K \_ 二席 氏名 三席 一席 2 1 效無票投の外紙用

梅ヶ枝町四丁目十二番地

(計學) 行友李風哈作 「馬鹿に気をまはすちやないか」 鏡級平他二氏療 八贯 できつと さうだね。 ちがひれえとる 運ばぬ日萬事進むも功なし二黒の人 物事強期通りに

戸ε

ってれぢゃ、今夜、すぐに身受 ●三碧の人 勇奮して大に得

鰻浦焼

1

それほど、節は、題人ちやれる」

人でなけりや、他の昭

御殿女中

戸役者さ

四一行友李風

、だますのなんのつて、

の思ひあるべく**慎重**に進め

乙と申と丑か吉

八白の人 力と頼む人と共 製設

から、即代的へかけあつてくるか 『ならさる ― 何も思くものは おいく、待ちなよー」

ら、つひ、お前の影覧

けないちゃないかっさあ

多少に不拘御下命下さい 迅出 速前

割烹

藪

**企**語三四四五

小兵がは、あはてて。

●小作器も御一報大第迅速に致します●

るが功能早し

建築請負

三大散商船出廊

30

寫眞の

ズン!!

御用命は定評ある 林田寫眞館へ

締切五月十七日午後九時

豫相投票用紙京店頭裝飾競技會

締切五月十 氏名 七日午後九時

票 3 限 K. 三席 二席 2

一席 效無票投の外紙用

豫想投票 用紙新京店頭裝飾競技會

**勝員ニ常選本日領事官ノ認可ヲ得タリ昭和九年四月二十二日本會評議員選奉ノ結果左記ノ通評公示第二號** 

滿洲採金株式會社

設立に就て

質菜部總務司長

域の金鑛業を統制なく民間

區の事業競局を計ると共に既断の如く本會社は自ら直營鑛

全國民總動員

の秋

青訓を跳躍

年齢を下げて二科を置く

和昭

本業に間接的援助を與ふるも を全の迅速資金化を計り其の 変金の迅速資金化を計り其の 変金の迅速資金化を計り其の でを会にした。 ででであると共にした。 ででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

本 存産金業者に指導援助を興へる金鑛業の統制院費の任に営りの代行機關たる使命をも有すべきものなるを以て日滿國民できるのである(終り)

間を正式に訓練時間に加へに、入所を容易ならしめ、に、入所を容易ならしめ、

へ時

訓練時間短縮

抑該領域内は交通治安共に

日一十月五

曜 金) 聞

(日)

カして開發に當ると云ふ仕組 企業の進出の途を調ずる方針 であるから該地域は本會社が が制の中心となつて民間と共

日

等働者の談を綜合するに 一、滿洲園に對する蘇聯住民 の關心並に對滿政策の輿論

る宣傳か行はれ日本は深刻な日本帝國に對しては猛烈な日本帝國に對しては猛烈な

を恐れて満洲國に逃入せる。村より蘇聯官憲の壓迫に反抗村より蘇聯官憲の壓迫に反抗

飢餓地獄に

に於て事業其のものを獨占す 立したるものである該地域内 立したるものである該地域内

人の

一入所 数を示してゐる 整へてゐる國家總動員の見地 的にも滿足を許さぬものがあるので陸軍省内の主務當局間では近く青年訓練制度に大改 形、大体當局の抱懐する腹案 案としては

有し、その内容は大ぎの如き おる障碍を可及的除去するため入所年齢の低下並に強料補 

業に開放することは徒に関家 東要資源の價値を減殺するの みならず其の開致は百年懸河 を待つに等しく期して實效を 影げ得ざるものである效に於 て和織的經營計畫に基き遠大 なる金鑛開設策を遂行せしむ る為には政府の監督の下に在 る特殊會社をして之に當らし むることは必要なるごとであ る之れ本會社を設立したる理

二十萬人のうち四朝五分百萬 入所該當推定人員は今や二百 入所該當推定人員は今や二百

改正される具体案 (一) 青訓入所者の大増加 を圖り量的要素を擴充する (二) 青年に對し軍の信念 を注入し國体觀念に立脚し を違い燃ゆる剛健なる信念 

を根本方針とし更に主要具体 補習教育

(ホ)一ヶ年低下により最村 其他では補習學校と重復するので、豫科一年を補習學校の課程が訓練所課程と同等以上と認むる場合 は補習學校の課程が訓練所課程と同等以上と認むる場合 は補習學校の課程が訓練所課 で本次五十時間位を訓練時課 は補習學校の課程が訓練所課 を対象は第一年大州時間、第 二年大五十時間位を訓練時課

終了者は曹訓第二次に入所を終了者は曹訓第二次、外時間位を訓練時間を認め補習學校第二年次教師、第

現政權怨嗟の聲旺ん 越境入國の一ツ聯勞働者談 和販賣方面に於ても昭和石炭 會社が統制に當つてゐたが商 工當局は石炭が動もすれば供 を來すことを惧れると共にピ ・ルが既に重要産業統制法に **業者より成る石炭聯合會によ** 





七

**全以板材甲板** 少吉川商品 電三九一三次

(金) 日一十月五

設行所

D B 67

彩度 沒本 全數 聚經

色バルチザン除員等である と関る恰遇であると、各階 し関る恰遇であると、各階 を抱いてゐるものは反感 を抱いてゐるものは反感 を抱いてゐるものは反感 を抱いてゐるものは反感 を抱いてゐるものは反感 を抱いてゐるものは反感

に必ず共産黨細胞がありこれが全支配機を有してゐる 一、教育宗教の状況は各村及 ひ各集團農場に一乃至數個 の小學校がありて兒童教育 に當つてゐる、宗教は絕無 たぐアルガーチ村地方にない模様で、 **状况は官戀の脈迫に依り** 

ます

を中穏でしむることなき様 を中穏でしむることなき様 を中穏でしむることなき様

(イ)入所年齢現在十六歳 で十五歳に低下する でつ)ケ年の補習科を新設し家業其他の事情で十九歳までに終了し得なかつた

豫科と補習科

てゐる

集團農場農民は豐富な穀物 村では集團農場を營むもの 村では集團農場を營むもの は四十家族で各種家畜を合 して三百、トラクター一が ある。集團農場と營むもの は四十家族で各種家畜を合

かっ

ちれぬものであると には意情、狡猾なるもの少 からず此れ等は正當に酬ひ からず此れ等は正當に酬ひ

部分品

|||東北方顧爾古納河に向ふと、三月一日より八六待避| ガーチ村を歩兵三〇〇が額一、國境附近の赤軍の移動や なる經濟危機に直面し此のなる経濟危機を貼せんとして蘇聯として 、國意付丘の赤軍の多動やると **週入するものは皆射殺さ** 尙蘇聯を脱走して滿洲国に 自動車道路の改修、架橋水 爾古 納河に 沿ふて 通過し 共産黨社會制度は各機關

大字 で、、ウ・軍人、官公吏が、ペ、ウ・軍人、官公吏を開始した、 八六驛には凡そ一千の歩兵 他十二、飛行機八、タンタ 二〇トラッタは道路改修材料運 りたラッタは道路改修材料運 搬に使用して居ると 搬に使用して居ると も宗教儀式なども更にないで各数會は破壊されて僧侶 費店等を襲ひ物品を掠奪し 馬兇盗が四、五組あつて各騎 所に出沒、郵便局、集團農場 院は官懸の壓迫に依り現帝政恢復、反共運動等の

私が自動

御諒解

國產自動

タイプライター印書

譯●●●○文章立案

電話ニ三ハ七番

の經濟狀况 共産黨

整除員、ゲ、ベ、ウ及ひ赤 をに披摩し、住民は特に食 をに披摩し、住民は特に食 をに披摩し、住民は特に食 をに披摩し、住民は特に食 をに披摩し、住民は特に食 をのは共産黨員及各産業実 ものは共産黨員及各産業実

産業の統制上 石炭の生産分野决定

商工當局重要産業に指定 の如き重要産業が指定されなりこれが研究を進めた結果重加へる事に決定したものである。而してこれが指定は際し 限度が問題となりこれに關し 最低生産數量及び取扱數量の 商工當局では目下調査中であ





四、一挽手 これは繭の外敷 から取る層で二挽手と共に 紡績用として使用される 五、二挽手 これは解射不可能となつたものを内部の蛹 を取去つたもので一挽手と せいまつたもので一挽手と 適當してゐる

七、秋出穀繭糸 これは秋繭の出穀繭から製糸したものである

號

量であるが秋繭は十月下旬か は馬車によつて搬出される とは馬車によつて搬出される 関係上出廻り数量は極めて少

機-製糸工場

に属する大規模のものと工業 に属する大規模のものと工業

の種類及

四

+

六

を計つてよる を計つてよる を計つてその取引を制め し、保管手入、税金の代典 を計つてその取引を制め し、保管手入、税金の代典 を計つてその取引を制め し、保管手入、税金の代典 を計つてるる。 を計つてるる。 を計つてるる。 を計つてるる。 を計つてるる。 を計つてるる。 を計つてるる。 を計つてるる。 であるから繭徳は思 しいものであるから繭徳は思 しいものであるから繭徳は思 と、保管手入、税金の代典。 を計つてるる。 を対し、になる。 をがし、となる。 をがし、となる。 をがし、となる。 をがしなる。 をがしなる。 をがしなる。 をがしなる。 をがしな。 をがしなる。 をがしな。 をがしなる。 をがしな。 をがしなる。 をがしなる。 をがしな。 をがし

F

74

第

世界に冠たる

は飼育に要する!!

安東柞蠶

不况を越へた需給狀態

本の製糸方法で四角を有する枠を用ひへ一筋に十五、大枠糸 大枠糸 大枠糸は満州魯を用ひへ一筋に十五、大粒を用ひへ一筋に十五、大粒を用ひへ一筋に十五、大粒を用ひへ一筋に十五、大粒を用ひへ一筋に入粒を開ひへ一方、一种を用ひ紐の長さ五尺五は小枠糸、小枠糸に壓倒されてある、従つて光澤は悪く現在は小枠糸の原料繭を用ひへす、細筋の原料繭を用ひへす、細筋の原料繭を用ひへす、細筋の原料繭を用ひへす、細筋の原料繭を用ひへす、細筋の原料繭を用ひへす、細筋の原料繭を用ひへす、細筋の原料繭を用ひへす、細筋の原料繭を用ひへす、細筋の原料繭を用ひへす、細筋の原料繭を用ひへす、細筋の原料繭を用ひへす、細筋の原料繭を用ひへを換点とである。現在日本内地の時期によつて分に製土を開かる。

満洲市場では柞蠶糸を左の七 い製糸用としては秋繭糸が、大製糸用としては秋繭糸が

の出敷から製糸したもので の出敷から製糸したもので

新任する事に致しました次第で有ります 新任する事に致しました次第で有ります 私は以上の如く外國品 に 遜 色なき國産品品 州交通界で 國産工業 發達の為 に微力以て 合名會社ヤマト商會を興し奉天のヤマ・ に本店を置き奉天、 新で、 、ハル、・ 方法を以て全店員に依り必ず満洲各地 取扱 を置き外國品並に 品 部分品の仕 の販賣を主體さし、 入は東京、 政團結、業界に貢献致する種部分品の合理的ない 國產品 を仕入れ、 大阪に ヤ に附隨

昭和九年五月十一日 御報告旁々新會 大連 市 常 創立 0 御挨拶申上ます 創 文 敬 具

挨

役こし 儀かれる 會計重役 下春暖之候皆樣愈 てフォー 販賣に從事 K 御清榮之段大慶此事に 車販賣店滿洲モ ター Ü

ます

●當店のモツ

正確 親切

迅速

大小に不拘御用命の程を

電話長四七九〇番新京入船町二丁目

司

格低廉。技術優秀!!

す、辭任に伴い を得度き存念で 満洲モ > この意見 從事致 有る 色々 に皆様の を風評ご誤解 御座 車程度の しました當初 9 御愛顧の賜こ存じ深謝 主義の相違上不得止 ます 立以來大過なく が有る様に漏承りますの を以て より 付き報告旁々大方諸 念願こする 市場に 辭任致す 現 れる て居り 事と 務 至り

部分品販賣店ヤー 州モータースの 經れる國産部の る修繕補修に對 製造に對する我 車たるフォード の一日も早 し販賣上 フォード をも使用致 ースの 國產工 が外國 一販賣に から かなり獨斷 されるこ言ふ矛盾に逢着致 R マト商會會を閉鎖 業發達に しでは安價に ては奉 のも 0 心て 理想がかなり を願 て居 か のを皆 的 有り ふそれ ります關係 ば最悪品なり 献 子安工場に於て新車組 様に つた私がフ して良質なる國 産部分品 0 於ける愚弟 みならず のみ し度くない 時日 するか で有り する を要します 必ず自己會社 が獨立經營せる國産 へを持つ 來フォード會社 観る建前 した為に、 然らざれ こ存じまして斷 \$ が國産自動 其の て参り の極度 0 現 ばフオー かっ の手 際國產 を以て 後に 在低 6 まし 加 0

右微衷御 諒察の上舊に倍し御愛顧御後援の程懇願致 に遜色なき國產品助長の所信を以 ルビンに支店を設け、 界に貢献致す心算で要家各位の御期待に 出張所を設置して各種 商會を合 て更生致 愚弟葛和 マト商會 仕入こ品質の選定 した各種事 武治 し度く今回 熱河 £ で大連で大連 をし 部 す次 業を て満 なる 7

品需必の庭家御代時新 てしまひ用に等ダラサ・ラフ天・イラフ すまりあで品料食養業を良





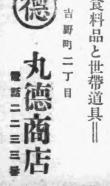












0洋

類各

〇 名北 産陸

ts.

めこ罐詰

0水

٤

投入筒

0新

木



# 治法撤廢を 用京政府が條約改正を提議

【東京國通】南京政府は今春 州改正問題を提讀し治外法權 内河航行權を目ざして活動を 内河航行權を目ざして活動を 内河航行權を目ざして活動を 内河航行權を目ざして活動を の沿島貿易權の回收並に工業

四、外國高級船員免許試驗三、外國船舶の檢查 

堂々意見開陳

郊側

月 五

わ

が島

萬國貿易聯合委員會で 競爭問題うやむや

基準の遙かに低い植民地市 場に對しても競爭点輸入禁 場に對しても競爭点輸入禁 は誠に當を得ないかゝる政 策は同時に機性を强要する がかりでなく歐洲各國に於 ける綱物菜以外の産業部門 に對しては却つて有害であ らら、何となれば若し土人 が衣類を安價に購入出來れ ば彼等が他の商品に與へる 資力がそれだけ埼すからだ 看島田代表の演説に對し歐洲 を関の委員が顔りに反駁を加 懇談會 日濠貿易の

出來ね

濠洲は英本國の 電役島田勝之助氏は立つて良 別各國の通商政策を非難し大 の如く述べた

京

日本品の進出が所謂不正競目、日本品の進出が所謂不正競目、

結局日本品の競爭問題はうやが、日本代表の巧みな應酬でが、日本代表の巧みな應酬でが、日本代表の巧みな應酬で

報告書

日

干渉を受け

臓間のフレンドシップにの 出す可きで これはた、各 出す可きで これはた、各 (イルビン関連) 『 防艦隊出動 口作に闘するライヒ 發表さる

上、午後零時東京驛着、昨夜 を別會に出席、午後零時二十 五分神戸驛設のツバメ號で東 五分神戸驛設のツバメ號で東 五分神戸驛設のツバメ號で東

實害喰止に

濠通商條約を渉る近く成立

相違に基くあらゆるものを

レイサム外相東京で語る

イドで『豫州政府は英帝國無關係 豫州總理がアデレ

【東京國通】商工省では日英

與を齎らさん事を希望する の訪日が國家に何等かの寄

特別委員會招集

で多少疑問だが英帝国・云々』の言葉は電空視しても第三國と通商

通商問題に関し可及的に實書を強ひ止めるため十四日頃日 東會商に備へて独れて組織さ を招集し、我對策として營業 者の意向を聽取すること」な つた、尚當局は今回の措置は 関内的なものと親るものと日 英倉商に先立つ牽制策と觀る

函簿は肅々

絶好の觀兵式日和

新京驛前拜觀所の雜觀

図江防艦隊では直ちに艦隊をに包留されたり救援頼む』と に包留されたり救援頼む』と

迎車通郵問題成行き 中に下山南京に入り汪精衛と ば政府要人の督促により來週 には早くも離職説さへ傳へら 會見後二十日頃北平着に決し

来を舉げて結論としたもので 家政府の建設事業を及扱ひ最 等政府の建設事業を及扱ひ最 でに國際聯盟を通じて行ふべ き技術合作の方法に就ての提 顧問として招聘することに決分會は孫殿英を軍事分會高等

孫殿英を起用

(率天國通) 黒崎社長鮮任に 学ふ率天造兵厥後任社長の人

杭州英子山に行った儘で一部「上海十日景國通」黄ヶ氏は

園公訪問

お斷り申し

齊藤首相時

へん、文部省内の居長間の 内粉については遺憾に堪え ない 近く適當な措置を調 するつもりだ、西園寺公か ち「十二日の午前中にお會 ひしたい」とのお話かあつ たが自分の訪問によつて老 なに色々御心配をかけるか

は絶對になく又樞府顧問官は絶對になく又樞府顧問官 (経對になく又樞府顧問官 (経對にない、十二日國公の御 (大はない、十二日國公の御 (大はない、十二日國公の御 (大はない、たと挨拶程度で (株はない、たと挨拶程度で あらう、自分から國公訪問 の豫定は種々お話し度い事は澤山にある、專任文相補 は澤山にある、專任文相補 は澤山にある、專任文相補 は澤山にある、專任文相補 は (本) は (本

行かない、常分衆績で差支が色々事情があり簡単にはが色々事情があり簡単にはい

前議長を訪問

外相園公を

雨艦は巖参謀長指揮の下に勇 向け出強した、偽傳家 埠頭 ○○○は九日午後九時通河に現地に急行せしめ防匪隊の○ (東京園通) 齋藤首相は九日 で左の如き時局談を試みた 福常院議長の更迭により平 である。

不も増大の質り、

大典觀兵式の 張景惠

> のである 符も皆比意味か

此れ其二で

の実際は基た深いものでも 兵の実際は基た深いものでも ・ 現機は、此一番の集

陷るものであり、非常時を前の最初よりたくらんだ好策に

は我々は一刻も奉天造兵廠」

食料品と

亦像大なるもので

に漸く活躍期に入らんとす

を示すか非常に興味ある問題に関し中央部が如何なる態度に関こ中央部が如何なる態度

があり只聞に形式に拘泥す

ものではない

日下吾國は、既に聖明仁ではない此れ其四である

度を示し、今回若しずで、人物ではないとの理由で顧内をお出身者間には断乎たる態

因つて集中

育に汲々たらさるなく、

会は認刻な農薬恐慌が起る 会は認刻な農薬恐慌が起る 会は認刻な農薬恐慌が起る 会は認刻な農薬恐慌が起る 所隔絶は致命傷となり相互 に密接不可分だ、濠洲との通 所隔絶は致命傷となり相互 に密接不可分だ、濠洲が我 重要販路を失はぬにほ我國 工業能力と濠洲の原料生産 能力の互惠的糧手は不可能 でない故凝田外相は此點レ でない故凝田外相は此點レ 合は深刻な農業恐慌が起る羊毛、小麥の輸出杜絕の塲 

大典と殆んど甲乙がないので 促前の関兵で、

ので、上古兵農時代の春蒐であり、その由來は久しいであり、その由來は久しいであり、その由來は久しい。

易調整恒久的方策を提案す

るものと期待さ

れてゐる

何應欽に申出で

席朱德、

海軍大將從三位勳一等功五級 吳鎮守府司令長官 吳親輔式を行はやられた

全端金額區及採掘の統制等を 日的に強て設立準備中であった減洲採金會社(福洲國)の 額圓)の創立總會は十一日開 個の確定を延期し十五日午前 九時中より大和ホテルで開く ことに決定、夫々關係方面に ことに決定、夫々關係方面に

衛作品御希望の御方々には此際特に實費即賣致しますの榮を賜り傍々御批判を願せいと存する大第でありますの榮を賜り傍々御批判を願せいと存する大第でありますの熟誠なる御援助により今回費展を催す事になりました御の熟誠なる御援助により今回費展を催す事になりました御の熟誠なる御援助により今回費展を催す事になりました御と家」の力作品普及宣傳の爲め滿錢社會译並に賢曲員各位當協會に所屬する幾多天才的名流費伯『帝展、院展『獨立

社長自身の發意に依つて爲さ四の黑崎社長辭任は單に黒崎

中へ、其委身本 大顔を拜し難り 大顔を拜し難り 夏苗、秋爾多の ・ 一次官に居り ることが出 田來た、此れ其一 ら、特兵は平時 にして では、 一番位は至尊にし 的には凡そ四端 く、皇帝概兵 其率戦の誠を 今や我皇帝、陸海軍大元帥と以は至つて深く且つ切てある。 作及後方業務の負擔に努力し を施し、婦女と雖も亦救護工

に歸し、積習 て、國軍は悉 今幸に邦基固 は悪

**村展起り、久しく** 時代は、筆奪風 感を激揚し尙武精神を振起せ行はせられ、大いに軍民の觀

◇…往昔軍閥はである

文治武功

厚の元首か有つて、

文治武功 日に善美に至るべて外より援助してゐる之よりて外より援助してゐる之よりの元前があつ

黒崎氏辭任で

部内の

軋轢を暴露

飛行式 配達は

高語 三三四三

市場內日華洋行

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

貨の御用命は!!

九日同氏よりな 應使 部會議を開き均門奪回を决定政府主席毛澤東は共産軍首腦

材の整齊、 云へ、命令に服従し、軍紀を如き、形式の講求に近いとは如き、形式の講求に近いとはない。

奮勉勞·

力、聖上智

問題の不

【奉天図通】奉天造兵廠 - 長の通りであるが其後の探査により左の如き部内の刺轢が白い下に暴露されて各方面の可能が白い下に暴露されて各方面の

立總會

十五白に延期

●日時

來る五月十三(日)十四(月)十五(火)三日間

中央通本城ビル内

產金會社創

<sup>稅</sup>流畫伯作品展覽會

意に副はんことを願ふも

恩澤に浴し、敷欣慶幸の餘年

は、世界の隠亂も自ら減ふたく、東亜の和平一たひ固まら

と を 通じて 近水平する 同じ な が 開始 共產軍反擊

軍は瑞金を

き反撃に移らしめた、尚共産に任命し精鋭部隊五千を引拔し葉劍英を均門奪回軍總指揮

補実鎮守符引合きで 海軍中將從四位勳二等功四級 藤田 倚標 中村 良二

造兵廠は國

ルたものでなく人、関するところによれば過穀黒崎社長上京の際、三井、大倉岡幹部より 自立以來業請少しももがらず 起大なる赤字を示してゐるたの黒崎社長に一種の不信任衆

審談及重役の正式決定を行び通牒を發したが常日は定款の

正午閉會の豫定である

後援 主催

新京滿鐵

和京滿鐵鄉清融合係東京東洋美術協會

助

出により江西南部の一地出により江西南部の一地出により江西 中央 西東南部に押さ 更に四月二十 の間に激戦進行中であるの要地を死守し目下中央軍と

全く誠意なし

危險となった ので共産軍事委権軍全部が非常な

海軍首腦部

十日午前宮中鳳凰間で左の如

海軍中特、從四位勳三等功四級 海軍中特、從四位勳三等功四級 を立れた 長谷川 濟 佐願免本官 藤軍次官 (一等)

藤田 尙德

【營口國通】鮮農の水田經營

紛爭防止

鮮満人間の

瀬中將就任說に

内に反對

奉天造兵廠後任祉長問題



鮮滿人間の感情の融和を聞るを組織し一切の紛爭を關停

お産なさる

なら

新京朝日通一九(朝日通交番所前)

博愛麗產院

出るは常然である」との見解とは、大り憤然離表を投げ出したものと言はれてゐる、而して一度社長離表提出の報傳はるや腹社長離表提出の報傳はるや 過せる 率天から全滴およひ日本に中率天から全滴およひ日本についてと題し 変滅者の衛生についてと題し 浦博士放送

かの手段に出でんとしたるもの空氣が漸く濃厚となり何等 非國民の際を浴せ、

入產

隨派

時遭

產婆主任

字野のぶよ

院

**鶏臓られた不氣味な空氣は依り何等こと無きを得たが一度** 

語 見せるであらう▼ だではあるが公園内の幹沸ひ か満人の見物になつてゐることではあるが公園内の幹沸ひ にまで、まゝ見られるのは殊 にまで、まゝ見られるのは殊 にまで、まゝ見られるのは殊 とである、それも相當な人々 とである、それも相當な人々 とである、それも相當な人々 と係が消防験から獨立して近 生係が消防験から獨立して近 生保が消防験から獨立して近 を 生保が消防験から獨立して近 とは、その名も 偲 曹で一層の脈ひを 曹で一層の脈ひを 曹で一層の脈ひを

將に噴火山上に置かれた形で し現在に於ける 奉天造兵廠は

【東京図通】 齋藤首相は九日午後四時秩父宮殿下の御殿に 何候して、本日學術振興會の 午餐會に御台臨あらせられた 御禮を言上して退下、次いで 間四時三十五分倉宮邸を訪問

後現下の外交上の諸問題につの屋敷に訪問、挨拶を述べた

午前九時半西園寺公を駿河臺

【東京國通】農田外相は十日

ある

有賀氏歐米視察

新 科目 診療 花柳病科 外內

> 產婦人科 小兒

都屬院 肛門病科

随意 入院 新京永樂町三丁目 電話四六〇

領事館加京都旅館跨 六 香

×見習看護婦人用× アヘン、 モヒ

したものでせらい

痔疾科 ~~~ ヘロイン中毒

隨 意

個生隊とはいかめしく、これで一般の非難が解消すれば初で一般の非難が解消すれば初日分離の甲斐があり▼何もかを紡金筋のオイチニ式で融涌性がなければ、喧し屋の地方姿員會あたり、おこでとはいつものことと受洗しておいても▼一般市民の非難は相も懸されば初います。

代診生並に看護婦入用・

隨時往診應需 院

本橋通郵便局前

東宮殿(特に名を秘す)の加きは先月末集金に行つた時間に三分の一しか集金出来ず時間に三分の一しか集金出来ず時間に三分の一しかり、常に指導的がするのは一等國民の對面をけがするのは一等國民の對面をけがするのは一等國民の對面をけがするのであり、常に指導的であり、常に指導的 は如何です 鬼角の噂のある時反省をして しも置けぬ奴です、日系官吏 かへた様ですが、常

讀高。聲 近頃殖へて來た 不良のやから 一靴商から抗議

事變以来新京に内地各方面からの人がなだれ込みこれに伴い ひ間分いかどわしい人も強へ て来ました、私は一靴商です であが事變前は殆ど掛倒れといふものがなかつたのです。ところが景 近は穂 夏上の 二割と てゐる有様で全く閉口して居 てゐる爲でせらが、諸官廳に てゐる爲でせらが、諸官廳に あるといわれてある 満洲図です。殊に相當の收入を得て 日来官吏に引つかっ

人 吹奏、関軍のラッパ、今ぞ皇 帝の御畜きだ、戦励の気充つ る一段原頭を駆する群集の中 も にも包みきれない緊張と喜ひ のざわめきが動く、やがて于 上體かに玉座近く馬を進め報 上をかに玉座近く馬を進め報 を 告終るや式場の中央より数百 の場一旁に五色のリボンを引 で の場一旁に五色のリボンを引 で の場一旁に五色のリボンを引

御召車は進

17 の胸をさす、五分・十分・御 通過時期は懲々迫り、宮内府 から大馬路日本福通り、宮内府 から大馬路日本福通り、宮内府 から大馬路日本福通り、宮内府 な刻々と増す管といへば貝型 は刻々と増す管といへば貝型 は刻々と増す管といへば貝型 でいる。 での修單セラと見とた低空調 のの修單セラとりた低空調 のの修單セラとりた低空調 のの修單とラと場色に半 のの修單とラと場色に半 のの修單とラと場色に半 のの修算と同様を正す。 のの修算とのの解析を正す。 のの修算と同様を正す。 のので、 のので のので

神戸市長招宴に於ける

チ内容

使命が濠洲政府の眞摯な

しずを試みた

は 大学学学の各級間に いが、太平洋学の各級間に 日本の情勢を是正する事を目的 とするものである、例へば 生産は皆無といぶ様な事は 中度は皆無といぶ様な事は 中度は皆無といぶ様な事は 中度は皆無といぶ様な事は 中間 である いっぱい かいが、太平洋学の各級間に 日本の小変輸入に當り今年は相 この小変輸入に當り今年は相 この小変輸入に高している。

様 めし類に今度は膣高らかな御 注意があり二言三言の末坊さ に達太皷を取上げられ。うら

九時四十分通行が禁止さ

静まり

歓喜さ 感激の

政部大臣始め文武大官も今日 する皇帝の御英姿、陸軍大禮 られ、殊の外御機嫌らるはし られ、殊の外御機嫌らるはし が、殊の外御機嫌らるはし であれた、圏従し奉る張軍 を晴れと
常師つて
ある、
斯くて
・ は
の
は
を晴れと
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が
と
・ が

相は相は、関いのでは、更に精験首

てゐる事とて廣田外相に激勵公は外交問題を極めて電視し き詳細報告諒解を求めたが関

事となった 尚旅行日敷は下野ないの郷船『海間丸』でアメリカ経由歐米漫遊の途に上るリカ経由歐米漫遊の途に上る

批評学設流布ずるものある 長の進退に就き世上免角の 長の進退に就き世上免角の

にして辞去した

るところあり

會談一時間

物凄い式場の人波

帝陛下、 なはせられる皇

満洲國軍をみそ

・寫眞上から

詰めかけた拝観 と指揮官于上将 觀兵式



春は悩まし、ネオン街 0 慘劇

う時間を間違ひなく帰頭へと父兄母姉の帰頭への盛んと父兄母姉の帰頭への盛ん

パパイー

ふは今春始つて以来

觀の日滿男女、揃つて、

間さんがあるかと思いふペチンはみな満れる、他さんがあるかと思いました。

散した、尚憲兵除でも連日の署長の懇ろな慰勞の言葉で解署長の懇ろな慰勞の言葉で解

苦闘酬はれて、無事警備の任

來る十三日から本城ビルで

盛大に開催される

解散式は十

西廣場校の コート開き

カフェー・アリランで

用一切は満電の寄贈によるも

園海軍記念碑前空地で

日和に浮れ出した日補男女は

無事大任を果した新京署員〇 觀兵式警戒に日夜奮闘を鞭け

日濠デ盃戦

ンで舉行

ースト

ボ

対域大関族を中心に萬國々族 とつきまとつた、曾場には痛 とつきまとつた、曾場には痛

岡山縣見本市

▲田名部武氏へ秋甲縣→遼陽か

た、なほ同コート工

樂長張大尉の指揮で式後西公 満洲國陸軍々樂隊四十五名は

四時終了した

應接の憲警

【東京國通】日本電報通信社理事山川美弘氏は脳溢血の經 過悪く十日午前三時五十五分 帝大病院で逝去した當年五十 二歳、英文年醛を編纂し日本 事情を海外へ紹介した人であ

まで中央通本城ビル内で開催 することになつた、出品は同 協會に所属する幾多天才的名 沈喬家帝展、院展、その他獨 などで、總數五百點にも上り 立大家作品普及宣傳のため希 望の向きには特に實費で頒つ ことになつてゐると

▲赤炯勇入氏、老松町一番地/ から花園町二丁目七番地/ 二千葉方へ

十四番地ノーから白菊町四

末なきサービス振り

常に好評を戴ひて居ります!!

▲林愛吉氏、平安町二丁目一

番地から羽衣町三丁目十六

それ

四月ともいよいよ娘工したを新設工事中であつたが、一四度場小學校では庭球コート

西公園で演奏會を開催

人典觀兵式終了

山川電通理事

覽會を來る十三日から十五日 | 三丁目三十號ノー井藤方への下に、現代名洗牆伯作品展 ▲髙橋勉氏(總島縣)花園町原始め市内名士多数の費助 地ノーへ から鱈月町二丁目三十八番東京東洋美術協會では新京地 | ▲蘇原源治氏(栃木縣)双廟子東京東洋美術協會では新京地 | ▲蘇原源治氏(栃木縣)双廟子東京東洋美術協會では新京地 | 本蘇原源治氏(栃木縣)双廟子

コート別きとほう

よ竣工し

りきつて脚宅したので激昂の見きつて脚宅したので激昂のである。 惠まれ

のダイヤ街カフエーアリラン (四八)は十日午後四時半ご

一無心 一年後三時ごろナ

エが意のまゝにならず、ふ話をした模様であるが、ナ エを附近の天平に呼び出し

見るが早

いつもマッ から美人女給として可愛が から『私は解かな田舎

グ

ス

通 信

して魔急手書を施したが電傷 である、同人らは以前から内 なから二人連れで大連に來り 本から二人連れで大連に來り

マを洋服のボケットから取に上り私の室におつたマッ に上り私の室におつたマッ に上り私の室におったマッ

りに背後からか

この旨を新京署に屆けると同石升氏が競見してとり押へ、

右事件につき同家主人石井氏

アリラン主人

石井氏は語る

T

称りつけんとし

とつては小學生生活の最終のとつては小學生生活の最終にとつては小學生生活の最終にとっては小學生生活の最終の 多くの土産話をランドセルー けふ旅から歸る

(三)

から五十男がかねて闘係のあつた女給を海軍ナイフで刺し重傷を負はせた血なまぐ人は霄葉や花にらかれ廻る十日の午後ダイヤ街カフエーアリランの二階で痴情關係

員少憩して午後二時

二日間太子堂で

参加商店及び出陳品は左の如

マ花莚疊表類都選郡妹尾町くである

▲上杉亦市氏(香川縣)當士 整町一丁目十番地へ

番地の二赤木方へ

強宴會特に勉◆

電器三四一〇番

▲吉成歳光氏、羽衣町二丁目 九の四から常磐町三丁目十 二番地の十五へ

合名會社越商店

内 説町太子堂で開催 ・ 五回岡山縣特産滿洲

日本は六月九、十、十一日をた、但しその時日については 濠洲は七、八、九日を主張して 一端洲行進曲、

特され家庭的に惠まれなかつ がそれも内縁の男から散々彦

室町校六年生

【マニョ十日 登園通】 今次の をなつてゐる我体協の大會憲 となつてゐる我体協の大會憲 法の改造案提出期はコングレ

阿部兩氏は九日午後八時 會を前に

では我が陣容と比島チーム 関會を目前に加賀陸上コー 加賀氏勝算を語 短距離のコースが にもスタンドの機根の スが向ひ風で

おにつき諒解を求めた、 おにつき諒解を求めた、 のは右コンダレスに参加を承 認されたが棄権するかも知れ なとも云はれてゐる ルース れて大した影響もないので安心した、百米で吉岡の一等は 元氣だ、比島はスタートが下 手でフォームは荒削りだが、 カーブを使ふため相に後半に强みがある

まらねば

【マニョ十日 致國通】大會感 ・ とも夫々秘策を練つてゐるが ・ のので打 ・ のので打 ・ ののでは、 ・ のので打 ・ ののでは、 ・ のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の

我代表プ博士に諒解を求

露木の三名だから酸ひ易い位のに我方は新手の内田、田中のに我方は新手の内田、田中 の實力をもつてゐるので策戰

何と云つても日本選手には暑 ブールに水を入れたのだが連 イカの監着に日母しに水温が高 たる、比島の質力は正確なと ころは分らないが平泳のイル 

日比兩國の爭綱とならう、排 い次第である は合が展開されよう、簡潔は 對して闖へるかの程度で心細 は合が展開されよう、簡潔は 對して闖へるかの程度で心細 がこの球技は支那の最も長 球では比、支共に强く状チー 水泳日本の

王座は確實 松澤水上コーチ豫想を語る をは聴さで精々よくて四十七十米の新人ノヒ、アリ南選手に喰ひ込まれる炭れがあり五十米の新人ノヒ、アリ南選手のがのだから我選手の全勝となりがあり近から我選手の全勝となりがあり、背泳でもクリステールのだから我選手の全勝となりがあるがあり、背泳でもクリステールと云ふからそう安心し したとも個へられてゐるが、

全乳 場で御申込み下されば

城内に新しい品質第一主義の!! 監督に依り最も安心して飲める牛乳多年経験ある獣臀の精密なる 完全蒸氣消毒濟 品質第一新鮮牛乳 牧場が生れました!! 一合五錢 師 醫 駅

優良見にも 賞品を授與 譽れの赤ちや

の選擇権は濠洲にあるから恐

個良見童審查結果最優良見五 然、個良見一名の住所氏名は がよりであるがそのうち左の六 はりであるがそのうち左の六 とは昨年からの個良見である

の中野武二さんは三回 世 ▲本野喜生子野武二 ▲米井 昌平野武二さんは三回

今春始つて以來の

藝的婦女給の新規營業許可 岡山見本市代表 ・ 一覧金時代の新京花柳界も松の 婦二十名女給二十名で最近に 黄金時代の新京花柳界も松の 婦二十名女給二十名で最近に

御

挨拶に來社

公園

観兵式拜觀の

流れを喰つて

十一、二の兩日祝町太子堂で通信所主任松田傳藏の兩氏は

から大賑ひ

乳幼兒週間の 良見とふるに賞品を授與する 時から露月町家事講習所で体 時から露月町家事講習所で体 十五日 (神社お祭り) 午後一 の優良見候補見窟に對しても の優良見候補見窟に對しても に行かれたいと 見童の家庭でも賞品を受とり

優良兒候補兒 日は候補 永八惠子

會事務所

▲太田智惠子 ◆太田智惠子 本太田智惠子 

朝鮮貿易協

會議所に設置

朝鮮貿易協會では豫で滿州へ いよ新京商工會議所内に事務 所を置いて對諸貿易の振興を はかることゝなつた

藝的婦志願

春と共に殺到

最近にない記録

機物株式會社機物株式會社 ▽納布類吉備郡總社町姫井 小郡笠岡町大塚綾

→ 置樂 吉備郡 吳妹村 日名專四郎 商店

柄

荷

案

17世界馬米斯和安照米時町 >綿 不 題 都 遙郡 茶 屋 町 正 織

清酒淺口郡逋島町大野酒

屋町丸五足袋株式會社 夏帽子長淺口郡里庄村吉 供太陽足役株式會社 運動靴地下足變岡山市大 ▲白菊町二丁目丸山顧浩氏十

四丁目備部小倉糧株式會學上照綿布岡山市本町通

◆阿部嘉七氏、陸軍倉庫新京

社 西阿知

五月十日死去致候間此段蓮告仕候 五月十日死去致候間此段蓮告仕候 治而五月十日午後三時新京曜町大正寺ニ於子 治而五月十日午後三時新京曜町大正寺ニ於子

照和九年五月十一日 昭和九年五月十一日 新京曜町三丁目二十番地 新京曜町三丁目二十番地 善

夏の洋服と白ズボン 3

取揃へてありま 御 D 0

极品目企

絹布、 各國產羅紗、 別珍、アルパカ、芯地 其 他 洋服附屬品 軍服地、 綿布

加摩洋行新京支店 電話三七三一番新京日本橋通廿五

井本運送店支店

引 越 尚 物 建築材料運搬 海 陸 運 輪

新京祝町二丁目 電話長三人四三番 電話長三人四三番

日

京

んに天魔を見せて上げたい。わかる。それぢゃに依ってお

がに黒子のある女云つた。

0

常用に就て

唱

図なぞと云ふところはあるもので 上を競りだと思ひ、さうして死 中意脱出(III) 作名字が云った。

らに関係として空や字の観からはとその女は歌から気にさめたや 居る関の花を行んで気た女

ち襲しかつたであららがな

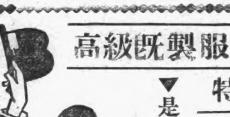


分眠れない、反對に登間思いなる、記憶力がなく、根氣がなる、記憶力がなく、根氣がなる、耳鳴が出る、耳鳴が出る。

・・・・・の奥に 膿症か又は タマル 「ウミの 蓄膿症 期で

る家族と手には、 

### 電路 牛 囚六四二 7トリエ禁品部





引急き服用す メがあるから 別誂に孫色なき 高尙品 · · · · 豐富

みくに湯横富士町二丁目

名な此のおよ

見逃せわ見物所の

新京

名物

性の百貨店

### (度決料の内廿回切手規定に從ひ同封御这付申上候間官馭詞の致し度候に付過性用惡性十五回分並拾圓也代金引诱小包にどのゴノモトは實に奏効○○如く尺々○○○申候、就てはのゴノモトは實に奏効○○如く尺々○○○申候、就ては て食を替し身體の健康上にも良結至を得つゝ治域できる公第々々によくなり、何此樂は他樂の如く胃を痛める心包公別を、服樂常時の後部尿道の惡感や過勞の時起る拉及店益々翻越榮の段奉賞上候、小生其後經過反好ゴノモ いものがあります、世の同病者にもかる忌恵に浴るものです。今般日の出十月就優告を拝見致しましにて目つて居りましたが貴赴録行のゴノモトで追々にて目つて居りましたが貴赴録行のゴノモトで追々になる。 今一行社文 東月市 山野 某題的 神月市 山野 某題的 神月市 山野 某題的 滋養

御下命下さい!! 御用は安心の出來る

5

專門店熊本屋

**雅**括三四三五番

ドライクリー

ニングの

•

胃も全身も丈夫に



アルきと 印白州各種

即川貴千葉的店精製

電話 乙四 乙一番

新京视町五丁目十四番地

是非多少共御下命御試用の上精々御引立を御願申します▲遠近多少に不拘配達迅速▼



は

枝

は

日

通江醬油

等品

な屑し物

0

印

話三八 0 **T**.



た何を五本曜つまんで、東名主様といて ちりゃく、いいで居るでそんなにふみにじ

0

いって、天使選と一緒に遊びな

さうしたさまをもお記はちつと

廣告の御用は

電話三三〇〇番へ

特長多少に不拘乞御用命迅速、低廉、製作は弊廠の

金糠秒

鐵工廠

柴崎診療所發見

電話三二六五番

さういふと、その女はお脳の間

するとその女はうつろのやうな

つて居た。

内科

花柳行科

產婦人科、耳鼻咽喉科

その人が信じて飲む事ならば、何と

らうとお記は只々感心の限をみは

何といふお言様はえらい人であ

前に後にしなやかに、別問

起の下には美しい別

部と、路に似死してこの作歌から

廣

喀町二丁目卅一

(東川)

交番組

業

れを抱いたらしくその女はずつ一陸にも美しいお称様ばかり、青紫お高に心の中を見扱かれたので「々しい所でしたらうの其魔にも此

金蒔繪付最上等品新

目科業營

修施製設

理工作計

の河門専性慢

三笠町二丁目

新京中央通

自動車修繕 長春鐵工所 新京東三條通 十番地 請ポン

